

令和2年度 大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略外部検証委員会 結果
(令和元年度 実施事業の検証)

番号	事業名称	事業内容	主な意見
1	地域の魅力向上 文化歴史資産の活用	大山ツーリズム協議会へ補助金交付。 中山エリアの歴史的資産の商業活用検討として「フォログゲイニング大会inなかやま」を開催。商業利用の検討を行った。特に大山の歴史的資源を活かせる体験商品を開発するため「にぎり地蔵」の商品化に取り組み、町内外のイベントにて「にぎり地蔵体験」を実施した。 旅行時のツアーの一部として体験ができるものを作成した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアー企画に活用できる地域資源、文化、歴史を活用したイベントの商品化が出来た。 ・今後の観光客の集客に期待が出来、評価できる。 ・地域を移して続けていただきたい。 ・イベントは一過性の可能性もあるので、継続的な実施で更なる効果を期待する。 ・今後の展開として、コロナウイルスの影響を考慮して、これまでと異なる戦略の見直しを期待したい。
2	地域の魅力向上 スキー場グリーン シーズン活用	公募型プロポーザル方式により、BUSHIDOに業務委託。 未活用資源であるスキー場のクロスカントリーコースを利用した障害物レースを計画。会場に飲食ブースを設け、競技参加者や、観客及び旅行者にも大山の魅力を伝えるよう地元食材を使った料理の提供を計画した。また、大山寺周辺施設を参加者等に案内し、割引券などの発行によりイベント終了後のリピーター対策も計画した。当日は、大型の台風接近のためイベント実施はできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外のイベントであるため、台風は想定されることであり、代替の選択肢を用意して計画するべきであった。 ・イベント未開催だとしても、開催イメージの動画作成等によるPR効果を図る活動がなされなかったことがチェックの甘さを感じる。 ・イベント未実施なので、評価不能。 ・今後の展開として、コロナウイルスの影響を考慮して、事業内容の再検討をしてほしい。
3	来訪者満足度の向上 高度人材活用	(一社)大山観光局へ業務委託。 企画能力、ガイド実地経験のある高度人材を確保し、既存旅行商品の調査・分析、マーケティング、ガイドとして活躍できる人材の育成を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・大山町の観光マーケティング戦略を担える人材確保や育成を目指す事業であり、意義は高く評価する。 ・満足いく成果ではないが、一定の効果はあった。 ・今後の具体的戦術展開が重要でありつなげてほしい。つなげなければ有効でない。 ・データ分析の有効的な活用を望む。
4	商品力強化 (株)さんどうの活動 強化・高度人材活用	(株)さんどうへ業務委託。 ①新商品開発 ・ジビエメニュー ②来訪者満足度向上の仕掛けづくり ・キッズスペースの企画 ③大山観光の賑わい創出を目的とする戦略・戦術の企画 ・「大山参道ホテル」事業の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなジビエメニューやかき氷メニューの開発を通して人材育成が進んでいる。今後ジビエ料理の提供を通して観光客入込数や新規雇用者数の増加に期待できる。 ・戦略を担える人材の確保や育成がなければ、実現は難しく、時間がかかることが予想される。官民連携により、事業実現を期待したい。 ・地元大山の住民と協力体制も必要。
5	テゴテゴプロジェクト	テゴテゴプロジェクトを実施するため ①LOCAL&DESIGN(株)に業務委託 ②なわのわ・楽しもなかやまに業務委託 ③アマゾンラテルナに業務委託 を実施した。町内の3つの中学校から、イベント復活、e-sports(2チーム)、水合戦、有名人に会いたい5つのプロジェクトが形成された。実行に向け、企画立案し、大人とのマッチングを行った。事業実施は、コロナの影響により実施できなかった。 NTTドコモへ調査委託。 令和2年度にスタートする第2期地方創生総合戦略策定の基礎データとするため、大山町への国内観光客数と訪日外国人数を調査した。 旅行者の宿泊・日帰りの割合やどの地域から旅行者が来ているか、滞在日数はどのくらいかといった国内・国外の傾向を掴むことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しみながら、地域の課題解決に取り組むことで、子どもたちが大山町の魅力を感じ、まちづくりに関心を高めていると感じた。 ・企画段階から手作りで事業を進める事業は、子どもたちの地域への愛着を深め、将来の地域の担い手育成となり、大変有意義な事業である。 ・今後においても、世代間交流により様々なアイデア創出の場ともなり、地域づくりの企画策定機能をもつ事業としても期待される。 ・今後高校生プロジェクトが立ち上がることを期待したい。 <p>事業は、コロナウイルスの影響により実施できなかったが、今後期待したい。</p>
6	大学サテライト拠点 の活用	大学生の活動が円滑に行えるよう、 ①慶応義塾大学に業務委託 ②大学生への活動補助 を実施した。 ①事業では、地域自主組織の地域活動の検証を行うためのデータ整理を行い報告書にまとめた。 ②の事業では、大学生に大山町に来てもらい、町民と行う自主的活動の検討、調整、実施を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・大山町を学生のフィールドワークの場と位置づけ事業実施。慶応義塾大学と連携した実施事業は、都市と地方の交流や、若者と高齢者の交流など、様々な効果が期待される。 ・「関係人口」政策とも関連させて、事業内容の見直しをしながら、進めていただきたい。 ・有益な事業であり、継続的な実施を期待。 ・このような企画は様々試してみれば良い。 ・地元の大学生とのつながりを重視すべきと思う。町としてより整理が必要。 ・学生の調査研究が大山町に役立っているのかの検討が必要。
7	社会的課題解決への 起業	令和1～2年度に新規創業(2次創業)予定の(株)ビッグワンに補助金を交付。 空き施設を活用し、 ①衰退しつつあった大山寺周辺の観光施設の活性化 ②地元特産品の販売 を行うため事業を進めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は、大山町の地域課題解決を目指すものであり、その意義は高く評価される。 ・コロナウイルスの影響などによる観光需要の消滅など、取り巻く環境は相当に厳しい。成功に向けて、更なるイノベーション創出に期待したい。 ・直接的な効果はある程度見込めるが、一企業のみでの努力では継続性に懸念あり。大山寺一体での協力が必要。